

プロジェクト名	ドイツのお薦め雑誌
タイプとレベル	「語彙とリーディング」 A2～B1、 「ライティングと文法」 A2
期間	準備作業のための宿題 1 回+授業の後半 30 分を 2 回+課題作成のための宿題 1 回+グループ内でのプレゼンテーション
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期の後半に実施）
計画面 <small>（課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例）</small>	<p>課題 : 個人作業として、ドイツ語で出版されている任意の雑誌を 1 つ選び、その雑誌の特徴について 4～5 人のグループ内でお互いに紹介する。紹介時に使う資料はドイツ語で作る。発表言語は日本語でもかまわないが、できる部分はドイツ語も使う</p> <p>目的 : 1) 簡単なドイツ語のテキストを読んでその内容を理解する (A2～B1 レベルの reading)、2) 理解した中身を簡単なドイツ語のキーワードを使ってまとめられるようにする。(A2 レベルの writing)、3) 新出語彙の発音を自分で調べ、発音できるようになる。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生: Wikipedia の Liste deutschsprachiger Zeitschriften のページ、ドイツ語圏の書籍通販サイト (Amazon Deutschland、Mail: Order: Kaiser、Thalia)、Google 検索および Google 画像検索 (Zeitschrift in Deutschland + basteln/ Fahrrad などの複数のキーワードの組みあわせた検索等)、Glosbe・Reverso Dictionary などのオンライン辞書各種、漫画コマ割り作成用のアプリ Strip Designer、Word、PowerPoint 等。</p> <p>教員: iSLCOLLECTIVE</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使えれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、それを提示できれば良い。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備: 1) あらかじめ宿題として、日本で出版されている雑誌のうち好きな物を挙げさせ、日本語でその雑誌の基本情報 (創刊、目的、発行頻度、出版部数と読者層、出版社、編集長、URL 等) とその特徴について報告させる。2) Wikipedia のどれかのドイツ語の雑誌の説明ページに行き、その右上の情報のまとめ欄を使って、当該雑誌の基本情報を紹介すると</p>

	<p>ともに、そこで使われている述語を説明・導入する。</p> <p>① 第1回～第2回：Wikipedia の Liste deutschsprachiger Zeitschriften のページに行き、自分の好きなジャンルの雑誌を1つ選んで、その基本情報と特徴についてドイツ語でまとめる。（雑誌を探す際は、Zeitschrift in Deutschland + basteln/ Fahrrad などの複数のキーワードを組み合わせ、Google 検索等を使って調べても良い。）お互いに選んだ雑誌が、グループ内で重なっていないか確認する。</p> <p>② さらに、その雑誌の URL を基に、最新号の記事（オンライン版）の見出し等を確認し、どんな雑誌か特徴を調べる。</p> <p>③ 第2回：Strip Designer、Word、PowerPoint 等使い、上記の情報をまとめた発表用シートを作る。この時間内にできなければ、後の作業は宿題。</p> <p>④グループ内でのプレゼンテーション：グループ内でまずお互い紹介する。そのグループで一番評価の高かったものを1つ選び、クラス内で紹介する。</p>
<p>ポイント</p>	<p>1) 準備のための宿題を予備的な形で出すが、その宿題を課す時点で、本プロジェクトの課題と期日を明示しておく。</p> <p>2) 日本語のサイトを使う準備作業には、後にドイツのサイトでどんな情報を読み取るべきかを考える際の予行練習としての意味もある。ドイツ語でわからない単語がでてきても類推のための枠組みができていれば、より容易に答を見つけられる。</p> <p>3) 条件が許せば、プレゼンテーションは、最初からジグゾー方式でやってもいい。</p>